

2 選択研修 (2)業務遂行能力開発コース

～ リスクに立ち向かうための基礎力向上！ ～

リスクマネジメント・危機管理講座

具体的で実践的な演習を通じて、あなたのリスク感度・危機への対応力を高めます。

到達目標	リスクマネジメントの基礎・手法を理解し、日頃の業務に活かせるようになる。 不測の事態など危機発生時に対応するためのノウハウを身に着ける。 自らの業務に関するリスクマネジメント上の弱みを改善できるようになる。
講座のポイント	日常の業務の中には、リスクがたくさん隠れています。また、それらのリスクは時代の移り変わりの中で増大しています。 不測の事態が発生した際、スピーディーな対応が求められる中でどう動くのかということはもちろん、日頃からリスクに対しての備えをしておくことも重要なポイントです。 本講座では、講義でリスクマネジメント・危機管理の理論やポイントを学ぶと共に、様々な事例の考察を通じ理解を深めます。また、架空のシナリオをベースに危機に対応する組織の「動き」を模擬体験するワークを通じて、実践の勘も養います。最終的には、自らの組織、職場で克服すべきリスクとその対処策まで考えていくことで、日常業務におけるリスクの低減につなげます。

日時 【全県】 1月 7日(木) 8:55～16:40

会場 【全県】 自治研修所(松江市) [定員:36名]

対象 一般申込枠…全職員(会計年度任用職員含む)。
必修選択枠…〈県〉主任後期
〈市町村〉中堅職員/管理監督第I

講師

かとう そう
加藤 壮



MS&AD インターリスク総研
株式会社
マネージャー・上席コンサルタント

午前		午後	
8:55	(開講オリエンテーション)		
9:00	○講義1 リスクマネジメントの基礎理解 ○グループワーク1 環境変化を踏まえたリスクの分析(近時の環境変化を踏まえ、自組織で何が重要なリスクになっているのか分析するワーク) ○講義2 危機管理(含、メディア対応)の基礎理解	13:00	○グループワーク2 危機への気づき・動き(実事例から危機管理の重要ポイントを理解する) ○グループワーク3 緊急時における「動き」(架空の危機事象を踏まえ、危機を統括する部署の立場になり何をどのようにすべきかを検討する実践的ワーク) ○講義3 自治体を取り巻くリスクマネジメントの重要トピックス ○個人ワーク 自らの業務に関するリスクマネジメント上の課題の明確化(個人ワーク・グループディスカッション)
12:00	休憩	16:40	(閉講)

受講者の声	備考
<ul style="list-style-type: none">● 内容の説明に続きグループワークを行うことで、具体的な事象に基づく検討を実施し、知識の定着を図ることができた。● 業務におけるリスクの棚卸し、再評価、ステークホルダーの洗い出し等、今一度検討してみたいと感じた。● 意思疎通を図ることで正確な情報を基に判断することを心がけ、日々の職務に取り組んでいきたい。	加藤講師の登壇実績 ・ 選択研修「リスクマネジメント・危機管理講座」(令和2・3・5・6・7年度) ・ 県新任グループリーダー・企画幹研修(令和4年度) ・ 市町村管理監督者第II課程研修(令和4年度) 上記講座とは内容が重複する可能性がありますので、受講申込にあたってはご注意ください。

リスク感度を磨くことで、次に起こりうる事態を予測することができます！